

栗東市議会
議長 寺田 範雄 様

「ニッポン一億総活躍プラン」を實踐するシルバー人材センターへの支援の要望

我が国においては、少子高齢化が進み、労働力人口が減少している中、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっております。

全国の公益社団法人の四分の一を占めるシルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現に役割を果たしており、併せて、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を實行し、地域社会の活性化と医療費の削減に寄与しているところであります。

今後、現役世代を支援、また人手不足分野を解消するとともに、急増する高齢者の受け皿として就業機会の確保・拡大を図るためには、会員の働き方の要件緩和も求められておりましたが、本年四月に、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」を改正していただきました。

この要件緩和により、労働者派遣又は職業紹介による働き方において、都道府県知事が指定する業種・職種について週四十時間までの就業が可能となりました。

これにつきましては、お骨折りいただき、厚くお礼申し上げます。発注者と会員のニーズに合わせ、有効に運用することといたします。

また、本年六月二日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」のロードマップには、保育等の就業機会の提供に、積極的に取り組むシルバー人材センターに重点的に財政支援を行い、保育分野等での高齢者の就業を推進する、及び介護周辺業務や軽易な介護業務に関して、シルバー人材センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられています。

シルバー人材センターは、行政刷新会議の「事業仕分け」による国の補助金予算額の大幅削減に併せて、地方自治体の補助金も削減されたことから、事務局職員の削減を余儀なくされ、十分な就業機会の提供ができていない状況が続いています。

① 介護保険制度改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業及び福祉・家事援助サービス事業

② 地域就業機会創出・拡大事業

③ 遊休地を活用した農園事業、空き家管理、墓地管理、高齢者の安否確認
など、国及び地方自治体の施策、地域ニーズに対応した事業に、さらに取り組むことといたしております。

つきましては、平成二十九年年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要な補助金、委託費と公共事業の発注の確保を強く要望いたします。

特に、シルバー人材センター事業は、請負により働くことを基本としており、一般会計の人件費・管理費の削減は、事業運営に大きな支障となることは必至ですので、今後は削減されないようご配慮をお願いいたします。

平成二十八年七月二十七日

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
平成二十八年 年度 定 時 総 会

公益社団法人栗東市シルバー人材センター

理事長 高野 正 勝



28.7.27

付

要望書第 号
持